





二葉集丙寅寒春之部

黃花葶升六編

正月

正月のきとれあそびてう摺摺	アツミ	千影
正月や板とありれあそび	、	圃文
正月紙子あそびれあそ	、	五粒
正月やあそびてうあそ	、	雲古
正月あそびてうあそ	、	有筆
正月とあそびてうあそ	、	蓮壺
正月乃あそびてうあそ	、	方舟
正月やあそびてうあそ	、	文角

正月之部

漢物丁

山はさし西月としはゆたかや 千三コ 松居
 ありわくと西月をさしあめ 右坂 斗文
 正月はたぬらちのふた イタニ 二有
 西月をさしはらきあける 誠中 比良
 正月もたぬらさす人の 日向 南交
 何より西月めくはさした カニ 習之
 見たりまゝ人ほくさる フニコ 未紀
 比良のまは海山より ヒコ 五城
 人さあさすまのちう ヒコ 有筆
 けさのころ海一 ヒコ
 雪もれささく向 ヒコ

今般者

明春

朝 チウコ 廿月
 三井 アツミ 乙於南
 某の 大坂 菊石
 くら チウコ 子代女
 柳 フニコ 葵子
 喜 大坂 一陽
 さま ヒコ 取白
 多 イタニ 皇塊
 皆 チウコ 龍軍
 水 大坂 真奈
 大 チウコ 文頂
 切 チウコ
 初春
 花春
 初日

蓮宇
 一陽
 升心
 魚心
 圃丈
 板重
 薑之
 正岱
 如伴
 白瀝
 美坡

福菓
 歳旦
 春

蓮宇のちかたてあやうき
 海わたりすくき
 家いふまゆり炭つく一
 湖やええりうたは
 右笑よれあまうり
 風種も此ひし
 月不乃介ものちらす
 唐種酒やちおをぬむ
 一むをさるまよ
 喜うしう人のい
 瑞
 建柳
 夜未
 芦月
 蕉葉
 冰石
 可友
 杏
 柔石
 生白

松内
 萬歳
 傀偶
 糍曳
 初寅

瑞
 建柳
 夜未
 芦月
 蕉葉
 冰石
 可友
 杏
 柔石
 生白

瑞
 建柳
 夜未
 芦月
 蕉葉
 冰石
 可友
 杏
 柔石
 生白

子目

松かゆや〜

計六

里人の柳さ〜たる子の白さ

燕市

七草

七草や口まね〜ぬる草の春

芳之

七草や目た〜ぬるも親子草

桂露

あ〜るや草の蓬よ〜ぬる

支角

七草れねよ〜曲る烟火笑

醒支

あ〜るも〜ゆや女のま〜る

かね女

七草のま〜る〜るある鳥

自笑

若菜

夕歌の霜よ〜ら〜らわ〜れ

具笛

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

武陵

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

樹也

養父

道坂や教入〜る〜る〜る

千乳

やふ入と浦乃〜る〜る〜る

福丸

ま〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

外古

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

方珠

下草

下草〜る〜る〜る〜る

揚歩

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

雲

福草

福草山も〜る〜る〜る

金花

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

浮水

芹

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

道表

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

志馬女

蕨棠

あ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ〜れ

桂家

ころり〜と麻のま〜ある乃棠 ワカサ 樂堂
 ち〜松乃り〜おあ〜つ〜ぬき〜れ〜を 東大戸 東橋
 ち〜〜〜やあけ甲の海き〜ぬの棠 升六
 梅のま〜る乃ハ身ま〜と〜ぬれ〜 乙整
 長保ま〜を〜け〜ぬ〜ぬの棠 白屋
 梅乃手ハ花〜い〜ぬ〜ぬの棠 松居
 い〜る〜に〜り〜ぬ〜ぬ乃漢乃 チクコ 漢字
 わ〜る〜の〜お〜ぬれ〜かるや山のぬ イカ 子枝サ
 め〜る〜る〜ま〜る〜も二寸と延〜る〜 サ又キ 宗佐
 め〜る〜れ〜や〜と〜と〜踏〜も〜種〜の〜 サ 表来
 め〜る〜子〜た〜ち〜い〜さ〜す〜い〜る〜の〜さ〜ま〜 サ 運柳

若草

春草

まぬ清〜の〜雪〜を〜ぬれ〜ぬ〜草〜動〜き〜る
 何けぬのぬ〜る〜 舞〜る〜る〜の〜ま〜 イカ 春城
 草乃芽や風とかれ種は流る 三サカ 九二
 木芽 心れ暖本屋とぬれ〜て〜木のぬ 周防 妻白
 物くのぬ〜る〜踏〜ぬ〜す〜ぬれ〜草〜 一陽
 旅人のちぬぬ〜ぬ〜ぬ〜ぬれぬ ヲハリ
 沃山ちよぬぬ〜る〜草〜ぬ〜て〜梅のぬ カヒ 士朗
 花〜ぬ〜て〜ぬれ〜ぬ〜ぬ〜ぬれぬ コトコ 漫々
 ち〜る〜梅の唇さ〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜ぬ〜 コトコ 其霞
 白〜る〜ぬれぬぬぬぬぬぬぬぬぬぬ コトコ 鴨若

標

雲のうらお耐人乃さゆらり 奥三本
 別原あるまぬ里も梅の花 スハ
 去る梅の始終白く教は サカミ
 梅うらや東の梅屋さるれく 中
 うたうしのわきまよき サカミ
 西月や花の明かす子 千ク
 山宿やう見うあはれ マハ
 あつらう 五千
 まるや 十ヨ
 梅の本と名さく 在太坂
 雨乃う 在太坂

莫端
 古梁
 笈嵐
 丹人
 百雨
 のみ
 雲友
 竹里
 梅洞
 西岳
 葵風

梅月

わす サカミ
 梅咲て サカミ
 旅 イヨ
 遊 イヨ
 ぬ イヨ
 咲 イヨ
 去 イヨ
 粘 イヨ
 梅 イヨ
 梅 イヨ
 梅 イヨ

望白
 白屋
 系逸
 冬樹根
 妻衣
 文衣
 重塊
 生子
 宗煙
 东舎
 麻佛

本齊

柳の月影一投ほりきりゆ
 月乃うそなるあまりて曇るる家 アツミ
 わかまにわれたるはの月影 イナ
 雲さくさめてたきを月の影 大板
 まるれとらぬの月影 越中
 何うはきたるを影 柳外
 柳うら雲さくかきあふ 十ウコ
 とろくわく水汲く アツミ
 分入るえれとある柳 チウコ
 松山うら島乃ゆ 本卯
 甲よめてもわ おきお

有管
 文雪
 或集
 巻園
 五寅
 嵐丈
 馬成
 里跡
 古深
 乙越海

ち柳子われてあろう大甲
 海山よきとわ 柳外
 之日月の 柳
 青き 二尺
 観汁 柳
 ぬく 柳
 われ 柳
 ち柳 柳
 へ 柳
 ち柳 柳
 ち柳 柳

如岡
 葵子
 嵐角
 藤子
 文雪
 宅子
 春人
 浮世
 瑞子
 生子

山

梅榭

柳うらまゝなりさるる梅の山
 小面さるるり子縁糸屋の柳か
 鈴のけや柳よさるる言本履
 柳糸山糸乃るさるる柳よりく
 山屋の鱗月を忘れや梅板
 梅柳せらるるさるる柳
 ちちちちと支婦さるる梅柳
 ちちちちとさるる梅
 ちちちちとさるる梅
 すさささとおさるる梅のさるる
 梅木さるる梅をさるる梅
 梅木

松緑

梅木

新士
 真哉
 二有
 梅村
 正盛
 冬樹根
 圃丈
 習之
 南嶺
 水身
 松濱

指木

酒還

餘寒

新さるる梅さるる梅木さるる
 此柳さるる梅さるる梅
 此さるる梅さるる梅
 酒あつる山のさるる梅
 大さるる梅さるる梅
 月糸の酒あつるさるる梅
 ちちちちとさるる梅の通る梅さるる
 さるる梅さるる梅の右二の梅さるる
 さるる梅の中心さるる梅
 松杉のさるる梅さるる梅
 作山さるる梅さるる梅

松宅
 守六
 真波
 水洋
 百尔
 鳥頂
 魚心
 尖吟
 梅土
 松丸
 凍石

美雪

丁女ののりく 紅の糸衣成
 山中の池水 澄まき 糸衣成
 春雪よよるれ 雪の山田
 雪をすまふも けのれ雪の山
 春もたふき 海辺の夕やけ
 汐風よまも けのれ雪の山
 春の けのれ雪の山
 日のけのれ 雪の山
 まよの雪を けのれ雪の山
 春はけのれ 雪の山
 ねられよる けのれ雪の山

重塊
 羽白
 玉未
 美人
 嵐角
 千柳
 月化
 逢妻
 古梁
 青空
 方舟

春雪

残雪

春雪ののりく 紅の糸衣成
 山中の池水 澄まき 糸衣成
 春雪よよるれ 雪の山田
 雪をすまふも けのれ雪の山
 春もたふき 海辺の夕やけ
 汐風よまも けのれ雪の山
 春の けのれ雪の山
 日のけのれ 雪の山
 まよの雪を けのれ雪の山
 春はけのれ 雪の山
 ねられよる けのれ雪の山

方之
 約房
 未起
 白涯
 嶋若
 妻却
 一虫
 比良
 九浦
 花里鳥
 柳九

雪解

春雪ののりく 紅の糸衣成
 山中の池水 澄まき 糸衣成
 春雪よよるれ 雪の山田
 雪をすまふも けのれ雪の山
 春もたふき 海辺の夕やけ
 汐風よまも けのれ雪の山
 春の けのれ雪の山
 日のけのれ 雪の山
 まよの雪を けのれ雪の山
 春はけのれ 雪の山
 ねられよる けのれ雪の山

實七

氷解

雪の消ゆるは春の光の影の如し

目笑
水色

氷の解ゆるは春の光の影の如し

歩吟

氷の解ゆるは春の光の影の如し

子枝母

氷の解ゆるは春の光の影の如し

習之

水温

氷の解ゆるは春の光の影の如し

雪の如

氷の解ゆるは春の光の影の如し

瑞馬

氷の解ゆるは春の光の影の如し

板重

氷の解ゆるは春の光の影の如し

方舟

氷の解ゆるは春の光の影の如し

升古

氷の解ゆるは春の光の影の如し

芦月

初麻

春日

白煙

芦月

手白

手笛

たう女

妻那

魚心

我逸

手成

吹風

圓白

二遊日

實七

入おる仲へおめけしめし
 音おこししししししししし
 夕はる初瀬と流ぬまのうら
 都はれししししししししし
 山古や電乃しめの物ありし
 松風と暮ぬものありし
 夕波乃あけりし時よれし
 わけりしれしあしちりし
 陽炎
 松風と暮ぬものありし
 夕波乃あけりし時よれし
 わけりしれしあしちりし
 陽炎

三白
 春白
 流石
 六響
 老胡
 借る
 金花
 乙竹
 文角
 白涯
 吟風

春風

陽炎の時乃音おこしししし
 わけりししししししししし
 伏久留や之暮ぬものありし
 鐘をく人きあしぬものありし
 是しあめしししししししし
 夕はる初瀬と流ぬまのうら
 都はれししししししししし
 山古や電乃しめの物ありし
 松風と暮ぬものありし
 夕波乃あけりし時よれし
 わけりしれしあしちりし
 陽炎

文雷
 魚眼
 梅丸
 鼻坡
 玄古
 嘉塚
 仙芝
 瑞子
 东雅
 里桂

東風
 人乃其... 夕... 柳... 子... 蕉... 宜... 自...
 考兩
 伊勢... 瑞馬... 素...

東風... 人乃其... 夕... 柳... 子... 蕉... 宜... 自...
 考兩
 伊勢... 瑞馬... 素...

うらむすれはよあまはる初音
 岩角
 言のつらうらむあまの坂
 母陵
 うらむうらむうらむあまの坂
 天竺
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 直白
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 乙整
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 極岸
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 冬樹根
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 弁室
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 文彦
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 白涯

全書七五

うらむすれはよあまはる初音
 珠石
 言のつらうらむあまの坂
 四州
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 浮妻
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 せ白
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 九龍
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 墨跡
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 自笑
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 葛三
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 升六
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 費危
 うらむあまの尾居うらむあまの坂
 仙芝

演十六

山崎

白雁 白雁

越山 越山

鶴 白雁

松菫 千古

方舟 方舟

水鳥 之豆

鴨若 鴨若

白魚 青柳

素閑 素閑

文岩 文岩

五寅 五寅

観

一陽 一陽

仙草 仙草

香心 香心

白雁 白雁

蓮葉 蓮葉

流水 流水

費危 費危

蛸

柳澁 柳澁

支角 支角

田標

馬印 馬印

可省 可省

蘇州

海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔小貝信し〜ちうぬまの	梅乃〜い〜い〜い〜い〜い〜い	山嶽〜系虫梅〜い〜い〜い〜い	鳴〜て〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち〜ち	ぬ〜の〜虫〜子〜れ〜い〜い〜い〜い	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火

海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火
海苔	梅香	海苔	飯糟	初鮓	文火	文火	文火	文火	文火

十四

蘇州

若夜

まの乃松の木の葉の影は
まのよれぬさくぬらば
あまのうきま乃よふ
ほれよちあまの山
まの松の影は
配る鴨乃中ゆきま乃
初あまもち松の影
まの松の影は
まの乃よの影は
まの影は

乙松
まの和
松乃
玉粒
六密
雨芳
取白
雪白
魚人
白涯
浪士

其音

春月

清持とてあるまの
松よ入まの影は
まの月影の影は
まの月影の影は
松乃やまの月影は
九もれとてあるまの
まの影は
水乃影は
まの影は
まの影は

松乃
水乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃

秋月

まの影は
まの影は
まの影は
まの影は
まの影は
まの影は
まの影は
まの影は

松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃
松乃

新月多も集ぬよし節より
 ねあられハミ柳たう続月 きじ
 月續ね香も鳴く清乃夢
 続有海もおろろく 大坂
 若山やす心家あつて続月
 おろろねやあけ物もの六皆柳 仙文
 続ねを何と人ゆくねら きじ
 おろろよや春の中ねら きじ
 山里やまき きじ
 よのきも柳く フコ
 あら フコ

宜白
 漱石
 曇友
 若陽
 蓮柳
 仙芝
 雄風
 一信
 清有
 有管
 仙洲

其水

勝衣

原牛や子のく 南始
 まる先の風世 六
 とく 一陽
 破山や海く 右梁
 ね 仙芝
 ね 如伴
 ね 舟舟
 何 柳洞
 何 舟人
 春川 未成
 柳 柳

喜山

春川

三十一

春錦

くさけ川にわたりてはしむる
まらぬ花はにほひもあはれ
まのやまもあはれもあはれ
まのやまもあはれもあはれ

夏辺

まのやまもあはれもあはれ
まのやまもあはれもあはれ
まのやまもあはれもあはれ
まのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

夏望

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

焼山

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

春良

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

初巻

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

初様

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ
わらわのやまもあはれもあはれ

三十一

知らるるの中子 竹不田一攻 有公堂
 跡系乃ほのこまうつそんけ
 知らるるは 諸路又てありと書
 夕ふれもまゝに 知らるるは
 知らるるておれん 事さえもあ
 田か一子日おれて 廣る支那
 終すはよあらしく 雨の事
 なはらうやねも 天れ向あ
 苗代とまゝに 日のし 諸の文
 苗代よあらまうらう 出た月
 苗代や柳を くれう 智の事

或花 瑞馬 羨字 現危 方珠 老胡 樂堂

種苗

紫花
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 九南
 紫の花をえん ぬりし 紫の花 子乳
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 宇栢
 紫の花をえん ぬりし 紫の花 周甫
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 大板
 紫の花をえん ぬりし 紫の花 大板
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 桂香
 紫の花をえん ぬりし 紫の花 舊頃
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 羨字
 紫の花をえん ぬりし 紫の花 如件
 ちのふやとこわし 多て夕鳥 跡士

紫花

花葉	葉のむぎやぶきなどいれ八折のり 折玉のちのむ種と折りよりう ふんやとふくしは 葉葉の那 ぬらふら乃葉とふくしはよりう うのまうらうらふらふら まののまやふらと折葉下流 菅畑やきふしは 葉のまら 折りやはらうらうらたはまけ 折りやのちうらうらふらふら ふちれはうらふらふらふら 山鏡の原かうらまらうら	氷石 東特 葉和 葉風 東管 五寅 葉危 舌人 芦月 圃丈 芦月
----	---	--

葡萄	きくあや秋のまらふらふら わらうらふら山鏡の原かうら ほらうらうら葉のまらふら 何けやふらふらふらふら 大根のふらふらふらふら あうらうら大根ふ散かうらふら ふらふらふらふらふらふら 大らふらふらふらふらふら ふらふらふらふらふらふら ふらふらふらふらふらふら ふらふらふらふらふらふら	干草 梅香 葉和 舌人 葉柳 梅趣 仙草 葉藤 梅土 葉紀
----	---	--

雛子

鳴片して杉の子雛ひもろく
 柏子ちう小字子落て鳴を花
 夕を和物おまゐる鳴を花
 鳴たうぬさるよ入目のひもろく
 大空を子鳴さあーたうとひもろく
 三三廿廿
 比良
 九鼻
 勢二
 魯江
 方殊
 燕柳
 宇洋
 乙調

燕

雛の尾乃るまあるる飛夕光
 四年たう多ねまゐるぬれぬ雛まゐ
 ちあまゝうま鳴てまひま雛まゐ
 あけちのま鳴落たうまゝまゐ
 終鳴やわれをまゝまゐるまゐ
 ひらつたわをまゝまゐるまゐ
 まる天のぬまをまゝまゐるまゐ
 子物まゝ八人まゝまゐるまゐ
 子の戸也ひのまゝまゐるまゐ
 つまらぬまゝまゐるまゐるまゐ
 又てあれはまゝまゐるまゐるまゐ

鞋子

むくろ戸を纏めて鳴

大内

香のたもと海を陸う子

金花

かろり子木の柳乃を平をれ

白涯

あはのあゝあゝ鞋子

清水

障景

障の景もも物よをまゝの多

金糸

几中

ふもやあゝあゝの几中

大坂

法橋

あゝあゝあゝあゝの几中

ハウキ

紫石

あゝあゝあゝあゝの几中

蒼陽

あゝあゝあゝあゝの几中

石者

あゝあゝあゝあゝの几中

文角

あゝあゝあゝあゝの几中

翠雀

香麻

あゝあゝあゝあゝの几中

あ母

あゝあゝあゝあゝの几中

あ丸

あゝあゝあゝあゝの几中

あ中

三月部

三月

三月也人をさるるあす風乃也

陽る

三月

三月也於乃らるるあす也

嶋若

三月

三月也くくくくくくくく

支角

三月

三月也くくくくくくくく

之子

三月

三月也くくくくくくくく

空里鳥

三月

三月也くくくくくくくく

梅香

三月

三月也くくくくくくくく

香々

三月

三月也くくくくくくくく

香々

三月

三月也くくくくくくくく

浮水

三月

三月也くくくくくくくく

浮水

三月

三月也くくくくくくくく

可友

三月

三月也くくくくくくくく

松字

三月

三月也くくくくくくくく

計六

三月

三月也くくくくくくくく

里教

三月

三月也くくくくくくくく

洪氏

三月

三月也くくくくくくくく

弱音

三月

三月也くくくくくくくく

木樹根

三月

三月也くくくくくくくく

梅香

三月

三月也くくくくくくくく

生白

廣三

運極

月影のふれかゞりり運極
運極とて舌の上ぬるも水
ちちあつと雲々一合おろし
山喜や静な中一のまき
幼むのうらもすしおほは
かつほく啼くおと運極
ちちまはまよふれ八人
教切乃消はくもなる
はくけもふくもなる
ちちおはくもなる
山喜とておのちちまら

若人
毛蟲
赤ト
花鳥
おみ
同南
胡濁
榎
又角
白特
仙李

運極

桃

ふゆの風よ水のちちれ
はるまはるははるまの教
いつまもも桃とて
春とて春とて
桃はくははるま
桃山は桃
其果を初る
あつ桃乃
何れも
おろし乃
等々の

そ白
周南
子歌
春哉
智之
牛庚
蕉葉
春柳
春柳
書六
榎

梨老

等々の

榎

李花

山吹の如くもよほしき花の依りて

ツカ

由来

連翹

吹折してまじりて花の香も

の香

躑躅

面をくして午もまじりて花

杉宅

淵にけりて火のまじりて花

白涯

待て居てついでに山吹の

方珠

藤

山吹の如くもよほしき花の

由来

雨もまじりて花の香も

多敷

山吹の如くもよほしき花の

仙路

旅に接して花の香も

升六

三舟も大いりて花の香も

仙路

山吹

花の香もよほしき花の

有管

山吹の如くもよほしき花の

乙并

山吹の如くもよほしき花の

乙并

山吹の如くもよほしき花の

氷石

萱

散めて花の香もよほしき花の

美和

山吹の如くもよほしき花の

乙并

山吹の如くもよほしき花の

月化

山吹の如くもよほしき花の

仙路

初春

まろくしん原をよきるくくはりの香
柳おほききちつらふくくはる
啼家下り啼あふももまは末
あししききうまらふまのまき
そのうらうまらたやう書は花
はるまほさうまほてあまらう
はるまほさうまほすのひまらう
はるまほさうまほふくまの傘
けくまふ人なるうまらふ
はるまほさうまほくく山相まゆ
山うけや梅屋まらうてまらる

萱馬
文角
未紀
蕉雨
布極
有管
美常
あま
與人
瑞馬

東二
本松

暮春

酒さしたまのせきうてなれまら
まらまらまらまらうまらまら
初細まらまらまらまら
水原のまらまらまらまら
まらまらまらまらまら
まらまらまらまらまら
まらまらまらまらまら
まらまらまらまらまら

蕨草
後士
初冠
林里
春和
蕪柳
初冠

大坂

王士

Handwritten notes at the top of the right page, including a signature and the number '100'.

二葉州集丙寅卷春之終

Handwritten notes at the bottom of the right page.



